

令和5年度第1回千葉市図書館協議会議事録

1 日 時 令和5年7月27日(木) 10時00分～11時15分

2 場 所 千葉市消費生活センター3階 研修講義室

3 出席者

(1) 委員

吉野知義 委員長・松尾修一 副委員長
熊井知子 委員・古賀義明 委員・萩原忠 委員・細川芽 委員
松崎萌 委員・三上浩司 委員・本杉みゆき 委員

(2) 事務局

佐久間中央図書館長・真田中央図書館管理課長
平岡中央図書館情報資料課長
高石みやこ図書館長・湯川花見川兼稲毛図書館長
及川若葉図書館長・市川緑図書館長・山崎美浜図書館長
坂入中央図書館管理課長補佐

(3) 傍聴人

9人

4 議 事

- (1) 令和4年度千葉市図書館の評価(案)について(評価実施:R5、評価対象:R4)
- (2) 令和5年度千葉市図書館のサービス取組項目及び評価指標(案)について
- (3) (仮称)千葉市図書館地域情報アーカイブ化計画(第1次)(素案)について

5 概 要

- (1) 令和4年度千葉市図書館の評価(案)について(評価実施:R5、評価対象:R4)
 - (ア) 令和4年度千葉市図書館の評価(案)について〔事務局説明〕
 - (イ) 質疑応答・協議
- (2) 令和5年度千葉市図書館のサービス取組項目及び評価指標(案)について
 - (ア) 令和5年度千葉市図書館のサービス取組項目及び評価指標(案)について〔事務局説明〕
 - (イ) 質疑応答・協議
- (3) (仮称)千葉市図書館地域情報アーカイブ化計画(第1次)(素案)について
 - (ア) (仮称)千葉市図書館地域情報アーカイブ化計画(第1次)(素案)について〔事務局説明〕
 - (イ) 質疑応答・協議

6 会議経過

<開 会>

- 会議資料の確認
- 中央図書館長あいさつ
- 事務局より協議会の成立について報告

○会議の公開について

<議事>

(1) 令和4年度千葉市図書館の評価(案)について(評価実施:R5、評価対象:R4)

吉野委員長 それでは、次第の議事(1)令和4年度千葉市図書館の評価(案)に入らせていただきます。

事務局から評価についての流れを簡単に説明いただきます。

真田中央図書館管理課長

議事(1)令和4年度千葉市図書館の評価(案)について説明いたします。

≪議事(1) 令和4年度 千葉市図書館の評価(案) に関する説明≫

吉野委員長 ご説明ありがとうございました。続きまして、外部評価について、評価部会で部会長を務められた細川委員から説明をお願いしたいと思います。

細川委員 それでは、内部評価を基に、萩原委員及び三上委員とともに、「図書館サービスの基本的な取組事項」及び「主要事業項目」について外部評価を行いましたので、簡単にコメントさせていただきます。

まず、2ページをご覧ください。「図書館サービスの基本的な取組事項」でございます。令和4年度も引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら取り組んだ結果、前年度と比較し、「新規登録者数」「来館者数」が増加していることが評価できる結果だと思っております。ただし、全体的にコロナ禍前の水準と比べても利用拡充するよう引き続き、図書館の基本となるサービスを充実させることが求められるため、B評価といたしました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行した令和5年度は数字の伸びを期待いたします。

また、今後、図書資料費の大幅な増額も難しいと思われるので、寄贈による収集にも努めていただきたいと思います。

次に、裏面の3ページをご覧ください。「主要事業」でございます。事務局からの説明でもございましたとおり、4項目すべてA評価になりました。

はじめに、No.1 花見川図書館の改修(こてはし台公民館との複合化)について、大規模改修工事中も図書利用に関するサービスを保とうと努力されたことは評価できます。複合化は、利便性を考えると一つの方向性を示すものだと理解できますが、今後も施設の整備にあたっては、図書館機能を維持できるよう進めていただきたいと思います。

次に、No.2 電子書籍サービスの充実について、前年度の令和3年7月からのサービス開始ということもありますが、提供コンテンツ数、貸出点数共に前年度より増加しており、評価できます。コンテンツの充実や、紙の書籍との割合など、市民のニーズを踏まえて検討をしていただきたいと思います。

学校現場において、電子書籍やデジタルアーカイブ化された豊富な資料にギガタブを使ってスムーズにアクセス・利用できるようになると、朝読書や、様々な授業の工夫も考えられ、児童生徒の読書への関心を高めるきっかけや、知識・学力の向上に大いに寄与すると考えます。一方、図書館の利用登録をしていない地域の児童生徒が多いため、利用登録なしでも電子書籍を活用できる体制づくりの検討もお願いいたします。

最後に、No.3 市民インタビューによる記憶の保存 及び No.4 地域情報サービスの充実について、オーラルヒストリーの作成は手間がかかる作業ではございますが、少ない職員で外部事業者やボランティアをうまく活用して順調に件数を増やしており評価できます。長年経過した時に非常に貴重な資料となるので、今後も数を増やしていただきたいです。テーマ及び聞き取りの内容が地に足のついているものになっており、未来へつなぐ「知」の収集・保存という方針に沿ったものになっております。今後は、利活用のさらなる促進を期待いたします。また、収集・保存するテーマ及び内容を体系的なものになるように検討を進めていただきたいです。

地域情報アーカイブ化計画の策定ならびにその計画の実行は、新たな業務であるため、職員を増やして対応するなど検討をお願いいたします。

説明は以上になります。

なお、今回評価いたしました項目のほかにも、取組一覧のとおり、多くの取組がございます。中には改善の余地があるものや、今後検討する項目もございますので、図書館サービスの向上に努めていただくとともに、今後の取組をより具体的に進めていただく事を期待しております。

項目数が多く、ご覧になるのも大変かと思いますが、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。

吉野委員長　ご説明ありがとうございます。ご意見、ご質問ございましたら挙手をお願いします。

本杉委員　評価について色々疑問点もあったのですが、細川委員と事務局のご説明で納得したところもありました。外部評価で、「電子書籍を購入するための資料費を別に設けるなどして予算確保に努めてほしい」とあったのですが、やはり紙の書籍よりも電子書籍の方が、お金がかかるということで、それらが一緒になってしまうと紙の書籍の購入がなかなかできないと思うので別々にしてもらえると私もよいのではないかと思います。その点を是非お願いしたいと思いました。

寄贈に関してですが、年間受入図書資料数で計算すると、購入されたのは約60%、寄贈の方は約37%で、割合的に寄贈が1/3以上を占めていると個人的には感じました。確かに予算が増えないというところはありますが、寄贈に頼るのは少々気になります。また、寄贈の基準がわからないのでご説明いた

きたいです。例えば、貴重なものだから、人気の新刊本だから等、CD も入っているのご説明いただきたいと思ひましてご質問させていただきました。

吉野委員長 ありがとうございました。1 つ目の電子書籍の予算についてはご意見ということで賜りまして、2 つ目の寄贈につきまして事務局の方からコメントいただければと思ひます。よろしくお願ひいたします。

平岡中央図書館情報資料課長

寄贈を受けたときには、図書館内の蔵書の状態や、受け入れる本の状況、それらの点を考えて寄贈として受け入れるべきか否かどうかを資料等で判断したうえで受け入れているところでございます。

吉野委員長 ありがとうございます。昨年度で目立った寄贈というところはありませんか。大きいもの、冊数が多いものがあった等。

平岡中央図書館情報資料課長

把握しておりません。

吉野委員長 はい、分かりました。説明は以上になります。よろしいでしょうか。

本杉委員 もう 1 件ですが、学校内でのギガタブによる電子書籍サービスの利用について、利用カードは当然皆持っているものでありませんので、利用に関しての例えばログイン総数や、貸出数は学校内でのみ利用についてのことなのでしょう。利用カードを持っていない人が学校内で使ったときには貸出数に入らないのか、その点が分かりません。外部評価者のコメントで、大宮中学校で試験的に実施したということですが、これは他校等も同様に回られたのでしょうか。お伺ひしたいです。

平岡中央図書館情報資料課長

ギガタブによる電子書籍サービスの利用について、学校連携として、小学生、中学生が皆使えるようモデル校等で実施して検証しており、今年度後半に実施していきたいと思ひています。利用登録をしてギガタブを使っている人数は、統計を取っておりませんので、分かりかねます。利用登録している子はIDとパスワードを持っておりまますので、ご自宅のパソコンでも利用できますし、ギガタブでも利用できるかたちになっております。今後、委員ご指摘のように利用登録していると利用できますが、利用登録していないこどもたちについては、こちらから ID、パスワードを学校教育用として配布し、全員が使えるよう目指しております。その前提としてギガタブを持っているという環境が整っていますので、

学校の中でも活用できる。また、自宅でも活用できるというかたちで、こどもたちの読書環境に寄与していきたいと考えております。

実際にギガタブを使った電子書籍の利用については、統計を取っておりますので分かりかねます。ただ、全体的な統計で見ますと、一番使っている年代は小学生の年代、それから40代、50代の年代の方が非常に多かったという統計は出ております。小学生は学校の努力もあって登録などもご協力いただきながら進めているところで、小学生の年代が非常に多いところが特徴となっております。

モデル校についてご質問いただいておりますが、大宮中学校のほか、数校で実施しております。小学校ですと、おゆみ野南小学校、源小学校で実施しております。この結果を踏まえて、今度、今ちょうど終わったところですが、大規模校の小中台小学校と花園中学校で実施し、大規模校でどの程度先生方の負担が増えるかという部分も合わせて検証しながら一括で導入できるような体制を考えております。

吉野委員長 はい、よろしいでしょうか。

本杉委員 ありがとうございます。こどもたちが利用カードを作ってくれるように望んでおりますので、こちらの方も今後よろしく願いいたします。

吉野委員長 その他ご意見などございませんでしょうか。

松尾委員 評価委員になられた方、大変な作業をご苦労様でした。大変な作業だと思いますし、よくまとめられていて感心いたしました。中身を基本的に丁寧に探られたと拝見できましたのでまずはお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

吉野委員長 松尾委員からお言葉いただきありがとうございます。その他ございませんでしょうか。それでは、ご意見頂戴いたしまして特に問題点ありませんでしたので、ご承認ということでよろしいでしょうか。

委員 <異議なし>

吉野委員長 はい、ありがとうございます。ご承認いただけたということで、次の議事に入らせていただきます。

(2) 令和5年度千葉市図書館のサービス取組項目及び評価指標(案)について

吉野委員長　　続きまして、議事(2)「令和5年度 千葉市図書館のサービス取組項目及び評価指標(案)」に入らせていただきます。今年度の評価を行うにあたり、取組項目や達成目標をここで審議し、定めるものとなります。
事務局より説明をお願いします。

真田中央図書館管理課長

それでは、議事(2)「令和5年度 千葉市図書館のサービス取組項目及び評価指標(案)」について、ご説明させていただきます。
≪議事(2)令和5年度千葉市図書館のサービス取組項目及び評価指標(案)に関する説明≫

吉野委員長　　ご説明ありがとうございます。ただいまの取組項目及び評価指標につきまして、委員の皆様からご質問、ご意見がありましたらよろしくお願いたします。

本杉委員　　9ページ「学校レファレンス用カード」の利活用の推進について、資料1の17ページに「学校レファレンス用カード」に関するアンケート実施で利用状況に係る記載があり、利用するのが大変、大変良いという感想や、意見としては、貸出冊数が多いと更に良い、予約が可能で近くの図書館で借りることができるとさらに良い等ありますけれども、近くに図書館はありますが、公民館は中学校区に1つあるものですから公民館図書室での受取りができたらいいのではないかと、読ませていただいて思いました。これは意見として申し上げました。

SNS の活用について色々あり、地区館の展示等の発信は受け取るのですが、中央館だと電子書籍に関することが多いので、中央館の展示の発信もしていただくとよいと個人的には思いました。

13 ページ、若葉図書館の移転の件についてですけれども、先日花見川図書館の方を見させていただきまして図書館の規模は小さくなりましたが、職員の方が大変努力されて、例えば子どもたちのスペースを本当に使いやすくコンパクトだけれども上手くできるように努めていましたので、若葉図書館も同じように、職員の方の意見や利用者アンケートの要望を取り入れながらになりますけれど、アンケートだけでなく、本当に市民の方の生のご意見を、職員の方の分も含めて反映させていただきたいです。その上で、新しい良い図書館を整備していただけるといいと思います。

吉野委員長　　ありがとうございました。いずれも良い意見だと思いますので、事務局からコメントあればお願いたします。無ければご意見としていただければと思います。

佐久間中央図書館長

SNS の発信については、中央館も積極的に発信していきたいと思います。
若葉図書館については現在、基本計画策定を進めているところでございますので、いずれかの段階で図書館協議会皆様方のご意見をいただける場を今後設けられるようにしたいと思いますし、また、職員の意見聴取についても十分対応していきたいと思います。

吉野委員長 ありがとうございます。その他にご意見ございますでしょうか。

三上委員 今の 13 ページの若葉図書館のことに関して 1 つ伺いたいのですが、この場では詳らかにできないものもあると思うのですが、ワークショップやアンケートの結果でこのような意見があったから、このような方向性で進めている等説明していただけるものがあればお願いしたいと思います。

吉野委員長 もし、お話できるものがあればお願いいたします。

佐久間中央図書館長

今現在、基本計画自体を進めており、まだお示しできない状態ですが、先ほど本杉委員から花見川図書館の件についてお話がありましたので、その点のいいところや、改善すべき点を踏まえた上で、ワークショップ等のご意見も取り入れながら進めていきたいと考えております。全貌がお示しできるようになりましたらご説明したいと思います。

三上委員 ありがとうございます。もう1つよろしいでしょうか。

1 ページの新規登録者数について前年度比増ということで、これから色々な努力をさらに継続されると思うのですが、具体的にこういうことに力を入れたい等、なかなか新規登録者数を増やすというのは難しいと思いますが、何かお考えがありましたらお聞かせいただきたいと思います。

吉野委員長 何か取組みがございましたらよろしく願いいたします。

佐久間中央図書館長

今年度は、やはりまず、コロナ禍の前の日常を取り戻すべく、特に図書館の仕事というのは本との出会いの場の機会をつくるのが第一だと思っています。コロナ禍で非接触、非対面というものが主流になってしまいましたので、現物の本との出会い、おはなし会や企画展示などを積極的に展開していきたいと考えております。ヘビーユーザーの方は実際図書館に来ていただいているので、その場で見ていただけるというのがあるのですが、未利用者の方に新たに足を運んでいただくことは非常に難しく、有効なツールは SNS だと思いますので、本杉

委員からのご意見もありましたとおり、そこは積極的に行って働きかけをしていきたいと思えます。

吉野委員長 ありがとうございます。その他いかがでしょうか。

細川委員 2 ページの図書資料費について質問させていただきます。令和 5 年度の達成目標のところになります。他の項目と違って図書資料費については今年度の予算が決まっているのではないかと思うので、お知らせいただきたいと思えます。

上段の予算と下段の決算ですけれども、昨年度、電子書籍部分については予算と決算が同じ金額ですが、過去数年見ると、毎年図書資料費が予算より決算が相当少なくなっているのは、これはどういう事情で、どのように使われているのか教えていただければと思えます。

吉野委員長 令和 5 年度の予算と、過年度の予算・決算についてお話いただけるようでしたら事務局からお願いいたします。

真田中央図書館管理課長

令和 5 年度の図書資料費でございますが、総額で 92,144 千円でございます。このうち、紙資料が 83,862 千円、電子書籍が 8,282 千円でございます。これは昨年度に比べまして 4,452 千円の減となっております。なお、令和 4 年度はコロナ交付金としまして、7,778 千円、予算が国の方からありましたが、令和 5 年度につきましてはこれがなくなっており、0 円でございます。市の予算としましては増えている状況でございます。

また毎年、予算額と決算額の差があるという部分でございますが、こちらは市の方で、予算のうち何%を留保するという取組みをしております。そのために予算を全額使用できない状況でございます、この差が毎年度発生するという状況でございます。

細川委員 ありがとうございます。コロナ交付金とは、いわゆるコロナで来館できないので、電子書籍のために使われる予算ということによろしいでしょうか。

真田中央図書館管理課長

はい、そのとおりでございます。

細川委員 ありがとうございます。

吉野委員長 ありがとうございます。令和5年度の達成目標が現状維持ということは、達成できているという認識でよいですか。

真田中央図書館管理課長

はい、できれば交付金がなくなっても前年度を超えればよかったです、現状維持はできていると思います。

吉野委員長 ありがとうございます。その他いかがでしょうか。

古賀委員 図書資料費の関係で、紙の本と電子書籍の割合等色々ありますが、委員長の挨拶で連日暑い日が続いているというお話がありました。暑い日が続いていると、図書館になかなか行けない、また、子どもたちを外に出すこともいかなものかという事情もあると思います。今は夏休みに入っていますが、学校がある時、昼休みや休み時間に、子どもたちを外に出すことが危険だということで、部屋で過ごすというかたちになると思います。これは今の時代で仕方がない事ですが、これをチャンスの一つと捉えて、今、子どもたちが本離れしているのであれば、暑い連日、猛暑のときは部屋の中で過ごすという機運を使って、子どもたちに本を読む習慣をつけてもらうというかたちを進める上でも電子書籍をさらに拡充して見てもらう、そのような意味において、予算配分が現状維持で、去年と同じでよいのでしょうか。今後、検討していく必要があると感じました。

吉野委員長 ありがとうございます。電子書籍の予算は現状維持となっておりますが、先ほどのギガタブのことや、小中学校との連携を含めて検討いただける場所がありますので、こちらもよろしく願いいたします。

平岡中央図書館情報資料課長

電子書籍ですが、なかなか人気のある本等、コンテンツとして出にくい状況もあります。いずれにしても、サービスを提供している事業者が本のライセンス契約というかたちでお願いしているところでは、そのような状況を見ながら、古賀委員のおっしゃるとおり、子どもたちが電子書籍を活用できる環境をつくっていきたいと思っております。

古賀委員 本当は図書館に来てもらわないといけないのは分かりますが、これほど暑い日が続くとそうはいかないでしょう。これは気候変動による影響で、この先も続くと思うので、将来的には利用時間を変更する必要も出てくると思います。外に出られない以上、そのようなサービスを行っていく必要があると思い、お話をさせていただきました。

あともう1点、「誰もが利用しやすいサービス環境の実現」ということに当てはまることだと思うのですが、5月7日付けの東京新聞の朝刊におきまして、日本図書館協会が実施した調査で、全国の公立図書館職員のおよそ76%が非正

規、自治体によっては低賃金で不安定な雇用条件が続いているという記事が載っていました。これを見た方もいらっしゃると思うのですが、やはり非正規の方が大半を占めており、昇給やボーナス、退職金も無い状況で厳しい状況になっているとのこと。実施計画が、サービス環境の実現を目指しておきながら、職員の方の負担が増えていくことは問題であると思っており、それなりの対応がなければ職員の方も立ち行かないと思います。今後の達成目標の中に、正規職員を増やす等も今後検討していった方がよいと思います。

吉野委員長 今の件は、全国的に問題になっています。特に、今回の取組項目としてはありませんが、市の方で検討いただければと思います。お話しいただきありがとうございました。

その他いかがでしょうか。

三上委員 5 ページのところでは 2 つ伺いたいのですが、1 つは、(2)「地域行政資料の収集冊数」について、令和 4 年度の実績を踏まえて現状維持ということになっていますが、令和 3 年度と令和 4 年度で比較しますと、令和 4 年度は実績が少し落ちています。ただ、それにもかかわらず、現状維持とされたのはなぜか伺いたいです。

もう 1 つは、(3)「地域情報をアーカイブ化し、インターネット上で公開」ということで、努力されていると思うのですが、評価部会でも申し上げましたとおり、それぞれ公開したもののアクセス数を今後把握していただいて、市民の関心がどのようなどころにあるのかということ、大変でしょうけれど、追跡していただくと今後の方針等にもそれぞれが反映されると思います。こちらは意見ですがよろしく願います。

吉野委員長 ありがとうございます。後半はご意見とのことで、この後いただく議事もございます。1 つ目について、事務局から説明があればよろしく願います。

平岡中央図書館情報資料課長

行政資料については、昨今電子化が進んでいる状況であります。千葉市の公共図書館の役割部分で考えますと、やはり千葉市の地域に関係する資料の収集というのは非常に大切な仕事でございます。減少傾向にありますが、現状維持を目指して取り組んでいく必要があると思いますので、少し高めの目標を設定して取り組んでいきたいということでございます。

三上委員 ありがとうございます。

吉野委員長 ご説明ありがとうございました。その他いかがでしょうか。

よろしければ、特に修正ということはありませんで、委員の皆様からご意見いただきましたので、今後ご検討いただければということで、こちらのものについては原案どおりということにさせていただいてよろしいでしょうか。

委員 <異議なし>

吉野委員長 ありがとうございます。原案どおりとさせていただきます。

(3) (仮称)千葉市図書館地域情報アーカイブ化計画(第1次)(素案)について

吉野委員長 続きまして、議事(3)「(仮称)千葉市図書館地域情報アーカイブ化計画(第1次)(素案)」に入らせていただきます。事務局からご説明をお願いいたします。

平岡中央図書館情報資料課長

それでは、「(仮称)千葉市図書館地域情報アーカイブ化計画(第1次)(素案)」について説明させていただきます。まず、冒頭にもございましたが、本計画の構成案につきましては、令和5年3月15日に開催されました令和4年度第2回千葉市図書館協議会においてご説明させていただきました。

本日は、前回いただきました構成案に対するご意見を踏まえまして、変更した点についてご説明させていただきます。なお、検討にあたりましては、委員長吉野様及び委員の細川様からご指導、ご助言をいただきながら修正作業を進めてまいりました。資料は、3-1と3-2がございますが、基本的には資料3-2の方でご説明させていただきます。資料3-1の本文の方につきましては、適宜ご確認いただきたいと思います。

≪議事(3)(仮称)千葉市図書館地域情報アーカイブ化計画(第1次)(素案)に関する説明≫

言言的な修正の方は以上ですが、広報公聴課との連携等については協議する中で、ご意見いただいたことが実現できるよう調整していきたいと思っております。説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

吉野委員長 ご説明ありがとうございます。本件につきましては、昨年度の第2回目の本協議会でご説明とご審議いただいたものに基づいての修正という認識であります。今、ご説明いただきました新旧対照表は、前回いただいたご意見が反映されていることをご確認いただければと思いますが、その点につきましてご意見がありましたらお願いいたします。

松崎委員 先ほど三上委員が、郷土資料の件数について、紙が減っていて電子のものが進んでいるとおっしゃっていたと思うのですが、元々紙資料だったものが

PDF データで出るようになったり、ポーンデジタルの資料というものが最近増えていると思います。アーカイブ化計画を見ると、どちらかというと紙媒体だったものをデジタル化することが主だと思われませんが、ポーンデジタル資料についてはアーカイブ化計画に含んでいるのかお伺いしたいと思います。

吉野委員長 事務局からお願いいたします。

平岡中央図書館情報資料課長

ポーンデジタルの関係の課題については認識しているのですが、やはり行政資料になりますとかなり大きい話になります。千葉市の場合、総務局の方で歴史的公文書の保存を進めております。「図書館ビジョン 2040」を策定する際に、先方と実際に話をしましたが、少し時間がかかるということで、現段階での計画ではポーンデジタルのことは触れていませんが、調整等が動き出してくれば計画の見直しの中で考えていきたいと思っております。

吉野委員長 よろしいでしょうか。アーカイブ化の計画については、オーラルヒストリー含めた過去のことということでご理解いただきたいと思います。その他どうでしょうか。

松尾委員 アーカイブ化は千葉市の歴史のところの話が中心になってくると思いますが、近代的なところで見てみると、千葉市の変遷という意味では、昔は広報課の方で、変わりゆく千葉市の写真というものをかなり撮っており、昔の写真は多く残っていますが、今は取り組んでいないと思われれます。ですから、例えばコミュニティセンターの前に日赤がありそれが医療機関になりましたが、新住民からすると、以前はどのような状態だったのかについて、新しいものが建ってしまって分からない。そのようなものは、千葉市の変遷の歴史として近代的なものとして捉えていく必要があると感じています。古いものも確かに必要であると思うのですが、最近急速に街並みが変わっていき、周りにマンションが多く建ち、その前はどのような状況だったのか、過去の人たちは知っているけれど、現代の人たちは全く分からない状況になっていると思います。そのような近場の歴史についても若干捉えていく必要があるということも感じているのでご検討いただければありがたいと感じました。

吉野委員長 ありがとうございます。アーカイブ化対象のところでご検討いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

その他よろしいでしょうか。ご意見いただきましたところは、事務局の方でご検討いただきたいと思います。次回の協議会で報告いただくということになります。

以上をもちまして、本日予定しておりました議事は終了となります。限られ

たなかでの貴重なご意見、ご審議ありがとうございました。また、進行に関しまして皆様方のご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

<閉会>

【問い合わせ】

千葉市教育委員会事務局

生涯学習部中央図書館管理課

TEL 043-287-4081